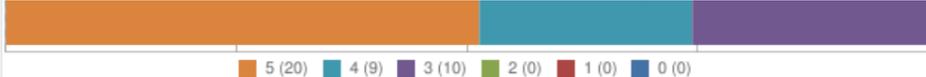


# 授業アンケート 2018年度 後期

コマ、学部	月2 昼間学部人間科学科目系列	全データ数	39
科目名	科学と技術の社会史	7割出席データ数	39
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0

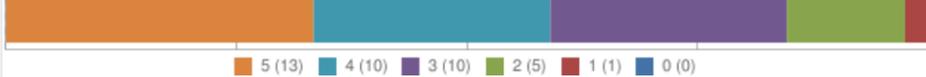
問1. あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。

(5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満 2:50%以上70%未満 1:50%未満)



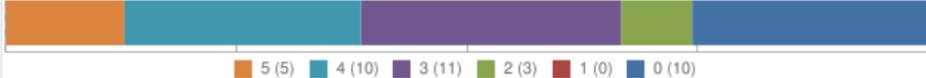
問2. この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。

(5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満 3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった)



問3. あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



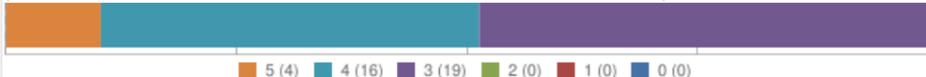
問4. 授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない 0:読んでいない、もしくは覚えていない)



問5. 授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。

(5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった 2:やや易しかった 1:易しすぎた)



問6. 授業の進度はあなたに合っていましたか。

(5:速すぎた: 4:やや速かった 3:ちょうどよかった 2:やや遅かった 1:遅すぎた)



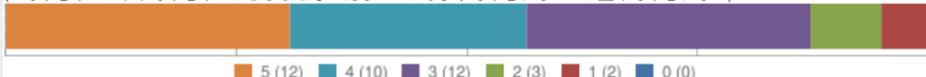
問7. 話し方 (声量やスピードなど) は聞き取りやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問8. 専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



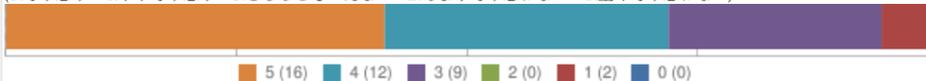
問9. 板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問10. 教科書や配布資料 (デジタルコンテンツを含む) は役に立ちましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



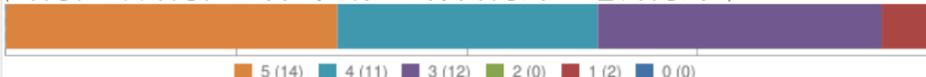
問11. 教員は授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



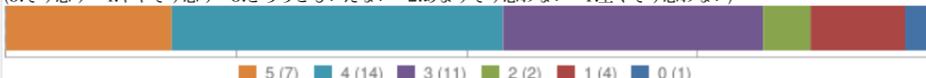
問12. 教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問13. この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問14. 今後、この授業のような、授業中に読書や執筆を行うワークショップ形式の授業があったら、また受けたいと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問15. あなたは、本科目を履修して良かったと思いますか。

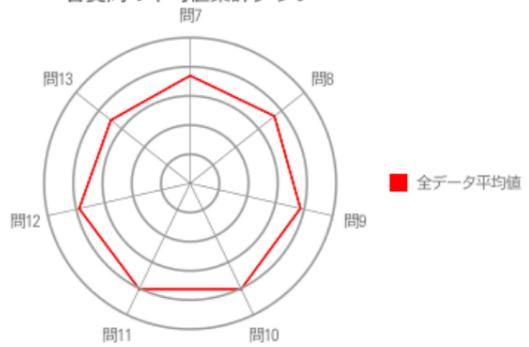
(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進捗	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.74	3.59	3.93	3.62	3.36	3.69	3.69	3.87	4.03	4.03	3.90	3.47
7割出席平均	3.74	3.59	3.93	3.62	3.36	3.69	3.69	3.87	4.03	4.03	3.90	3.47

各質問の平均値集計グラフ



## 所見

【集計結果および今後の改善に向けて】

今学期のアンケート結果を昨年度後期の結果と比較して分かることは、授業時間外学習時間が大幅に増えたこと (5段階評価の平均値で2.8→3.7, 週1時間以上が15%→59%) と、教員の授業の仕方に関する問7～問12および総括的設問の問13で全体的に評価が下がったことです (下げ幅は5段階評価で0.5～0.8)。また、難易度と進捗においても「ちょうどよかった」が減り、難しかった、速すぎたといった回答が増えています。これらの結果から想定されることは、今学期の授業は、昨年度よりも難しくなり、課題の負荷も重くなったことであろうと思います。全般的な評価が下がったのだらうと思います。全般的な評価の低下は、受講者の不満の表れと捉えることができると思います。

授業において昨年度と変わった点は、教員の講義時間を短くし、その代わりに受講者が授業中に読書をしたり執筆をしたりする時間を設けたことです。講義時間が短くなった分、講義での教員の説明は減りましたので、それだけ分りにくくなったのかもかもしれません。また、慣れない分野 (科学技術史) での読書や執筆は難しいことだったと思われる。多くの時間が必要のため、専門の勉強にも影響が出た人もいたようです。

今学期の私の第一の反省点は、受講者に対してこの科目の趣旨を十分理解する機会を提供していなかったことです。シラバスを読んでいない学生が26%もいました。今後は、授業中にしっかりとシラバスの内容を理解してもらい、その上で科目選択をしてもらうようにしたいと思います。また、学期末に授業アンケートで知ったことをもっと早く知る方策を考えたいと思います。学期途中での授業アンケート実施も一案かも知れません。受講者の状況をできるだけの確に把握する努力を続けたいと思います。

【自由記述欄の回答について】

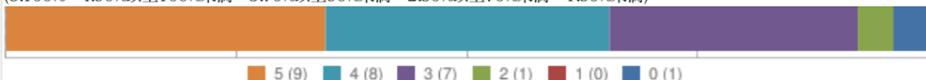
- ・良かった点  
「歴史について興味が深まった」  
「書評や小レポートなどのワークショップがあった点」  
「本を読む機会ができた」
- ・改善した方が良い点、改善のための提案  
「色々読んだが書評が書けそうな本になかなかめぐりあえなかった」  
←教員からの本の紹介や受講者同士での本の紹介の機会を設ければよかったかもしれません。  
「グループが一定の人物で固まってしまって議論を行いにくかった」  
←グループ編成は途中で変更してもよかったかも知れません。また、後半以降グループ活動が編集会議と査読に限定されてしまったのもよくなかったと思います。  
「書評・小レポート・期末レポート・ポートフォリオと、量が多すぎる。私が大学に入ってやりたかったことはプログラミングなどなのに、この授業の課題が多く、この科目に力を入れなければいけなかった。正直、人科は卒業に必要なのでとったが、ここまで負担が多いと必修にも支障がきたしてしまう。(以下略)」  
←この科目は選択科目ですので、この科目は履修しなくても他の科目で単位を取れば卒業できます。今後のためにもそのことは是非知っておいてもらいたいと思います。  
「文系でもないのにレポート数、文字数共に増え、教授が講義中自分の興味あることを学びその本を読めと言ったはずなのに「社会」「歴史」「技術」などと指定し、興味があること (笑) をひたすら流し読みするだけでレポート作成と本のために費やした時間に本当に好きなことが学べたのではないかとひたすら考える講義であった」  
「書評やレポート書くとか無駄 興味ないことおしつけられておもしろくない 理系の大学にいらない 自分の意見をおしつけすぎ」  
←これらの意見は、私の授業を再考する上でとても貴重な意見だと思います。長文のコメントを書いてくれて本当に有り難く思います。様々な分野の本を読んだり、文章を書いたり、それらについて人と議論をしたりすることが、今後生きていく上でどれだけ重要なことかを受講者に実感させることができなかったことを思い知らせてもらいました。また、興味が持てる本や執筆テーマを誰も自力で見つけることができると思ってしまったことも大きな反省点です。私はまだまだ学生のことを理解できていません。すぐにどうすればよいかは分かりませんが、今後思い付く方法をいろいろ試していきたいと思っています。

# 授業アンケート 2018年度 後期

コマ、学部	金2 昼間学部人間科学科目系列	全データ数	26
科目名	科学と技術の社会史	7割出席データ数	24
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	1
		7割出席割合	92.3

問1. あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。

(5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満 2:50%以上70%未満 1:50%未満)



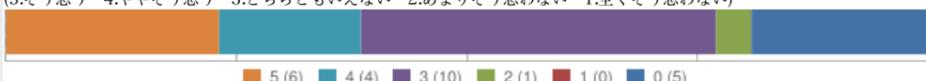
問2. この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。

(5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満 3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった)



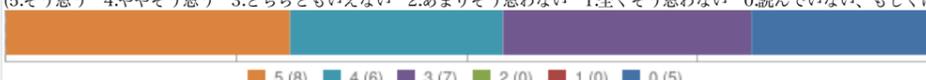
問3. あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問4. 授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない 0:読んでいない、もしくは覚えていない)



問5. 授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。

(5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった 2:やや易しかった 1:易しすぎた)



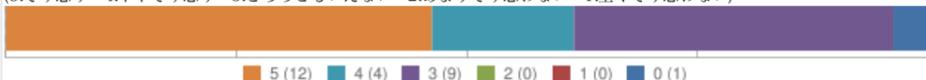
問6. 授業の進度はあなたに合っていましたか。

(5:速すぎた 4:やや速かった 3:ちょうどよかった 2:やや遅かった 1:遅すぎた)



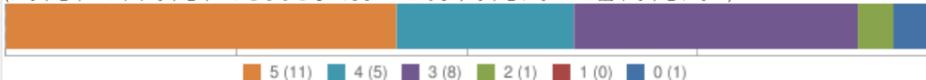
問7. 話し方（声量やスピードなど）は聞き取りやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問8. 専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問9. 板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問10. 教科書や配布資料（デジタルコンテンツを含む）は役に立ちましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問11. 教員は授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問12. 教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問13. この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



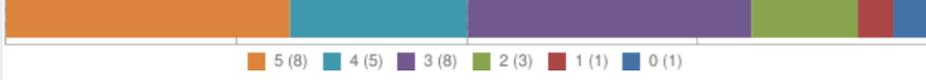
問14. 今後、この授業のような、授業中に読書や執筆を行うワークショップ形式の授業があったら、また受けたいと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問15. あなたは、本科目を履修して良かったと思いますか。

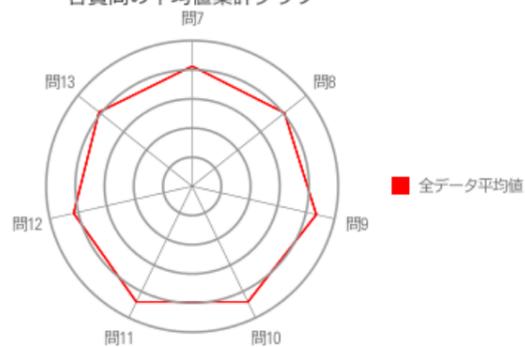
(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進捗	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.44	3.71	4.05	3.48	3.16	4.12	4.04	4.36	4.40	4.40	4.16	4.08
7割出席平均	3.54	3.71	4.05	3.50	3.17	4.08	4.00	4.33	4.38	4.38	4.13	4.13

各質問の平均値集計グラフ



## 所見

【集計結果および今後の改善に向けて】

集計結果から分かる第一のことは、多くの受講者が授業時間外学習にかなりの時間を使っていたことです（週1時間以上が回答者全体の50%）。これは、学期を通して授業時間外に読書と執筆を推奨した結果だと思えます。難易度については、「ちょうどよかった」が全体の半分となり、難しいと感じた受講者が多くいたようです。これは、講義の理解についてというより、読書やレポート執筆の際の困難を意味していると思われます。教員の授業の仕方に関する問7～問12および総括的設問の問13では、5段階評価で4以上、特に情報提供と熱心さでは4.4くらいですので、大きな問題はなかったように思われます。読書や執筆に関するサポートをいかに充実させるか、今後もいろいろ考えていきたいと思えます。

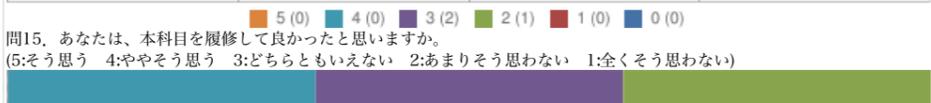
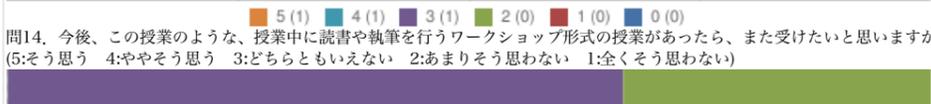
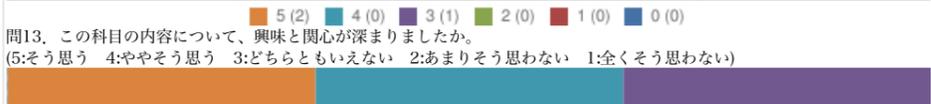
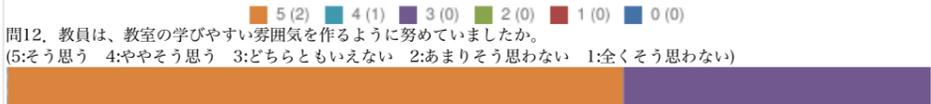
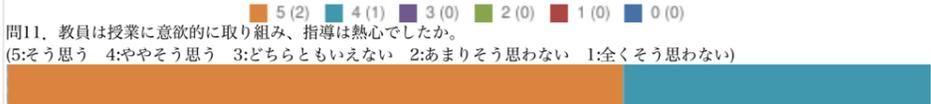
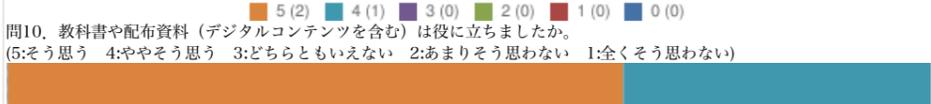
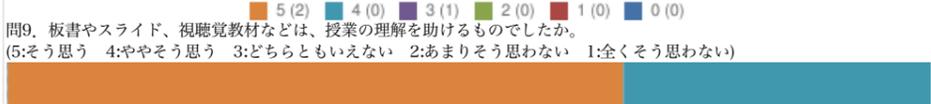
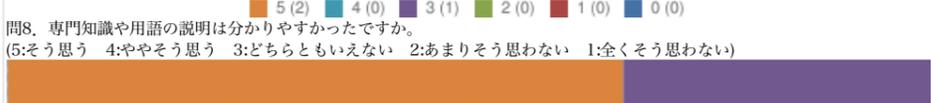
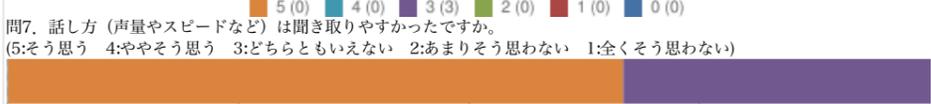
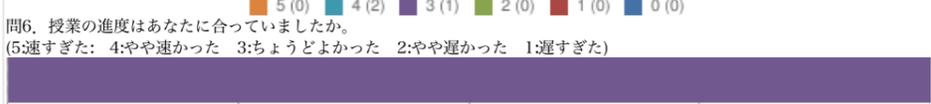
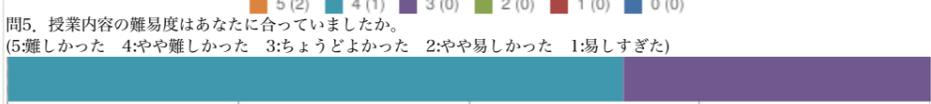
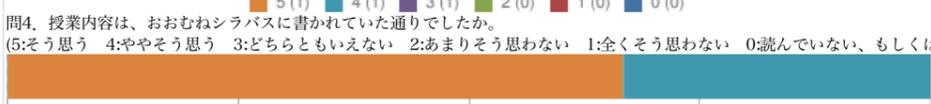
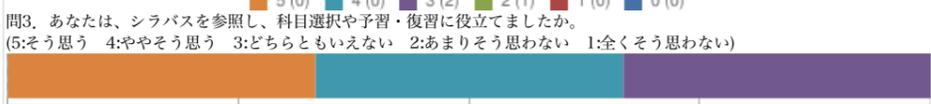
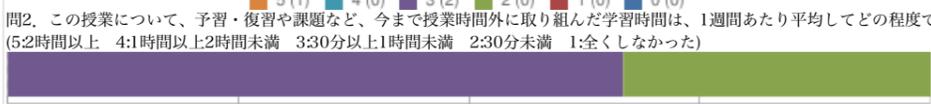
【自由記述欄の回答について】

・良かった点  
 「学生が能動的に学べるようにしていた点」  
 「授業で問いをなげかけていたこと。本を読むきっかけができたこと」  
 「文章を書くトレーニングと本にふれる時間が増えた」  
 「専用に作られたHPが非常に使いやすかったです。授業内容の確認などもしやすく、やりやすかったです」

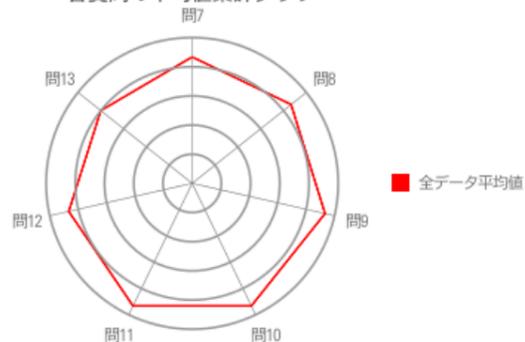
・改善した方がよい点、改善のための提案  
 「授業サイトに投稿したものを受講者の誰でも見られるようにするのではなく、一斉に公開する形にしてほしい。教授の例文もあるので、他の人を見なくても困らないと思う」  
 ←受講者の投稿を受講者相互に見られるようにしたのは、受講者が困らないように例を見せるためではなく、互いに読みあってコメントを付け合って欲しかったからです。一斉に公開してもそれは可能かもしれませんが、今回の授業では締切を決めずにいつでも提出して良い形にしましたので、一斉公開だとコメントを付け合う時間がなくなってしまうと考えました。しかし、実際には受講者同士でコメントを付け合うことはほとんど見られませんでしたので、やり方を考え直す必要があるかもしれません。

# 授業アンケート 2018年度 後期

コマ、学部	土N3 第二部人間科学科目系列	全データ数	3
科目名	科学と技術の社会史	7割出席データ数	3
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0



各質問の平均値集計グラフ



## 所見

サンプル数が少ないので、統計的に意味のある結果は得られないと思います。自由記述欄もすべて空白でしたので、特にコメントすることはありません。

各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進捗	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	2.67	4.00	4.67	3.67	3.00	4.33	4.33	4.67	4.67	4.67	4.33	4.00
7割出席平均	2.67	4.00	4.67	3.67	3.00	4.33	4.33	4.67	4.67	4.67	4.33	4.00

# 授業アンケート 2018年度 後期

コマ、学部	水3 昼間学部人間科学科目系列	全データ数	22
科目名	科学技術と現代社会	7割出席データ数	22
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0

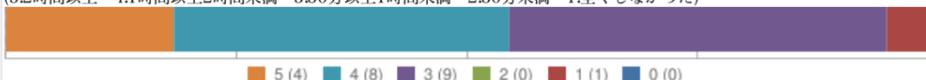
問1. あなたのこの授業への出席率はどの程度でしたか。

(5:100% 4:90%以上100%未満 3:70%以上90%未満 2:50%以上70%未満 1:50%未満)



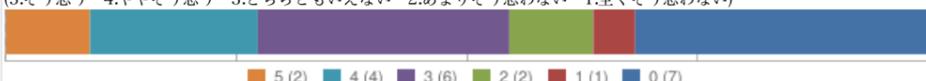
問2. この授業について、予習・復習や課題など、今まで授業時間外に取り組んだ学習時間は、1週間あたり平均してどの程度でしたか。

(5:2時間以上 4:1時間以上2時間未満 3:30分以上1時間未満 2:30分未満 1:全くしなかった)



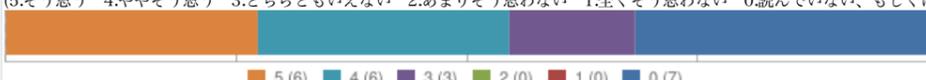
問3. あなたは、シラバスを参照し、科目選択や予習・復習に役立てましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



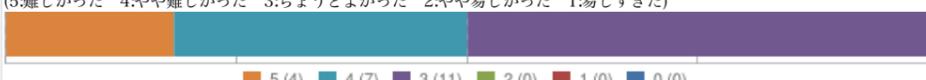
問4. 授業内容は、おおむねシラバスに書かれていた通りでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない 0:読んでいない、もしくは覚えていない)



問5. 授業内容の難易度はあなたに合っていましたか。

(5:難しかった 4:やや難しかった 3:ちょうどよかった 2:やや易しかった 1:易しすぎた)



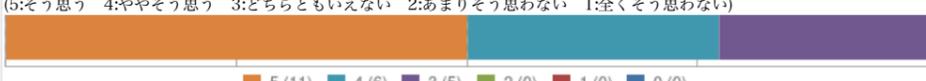
問6. 授業の進度はあなたに合っていましたか。

(5:速すぎた: 4:やや速かった 3:ちょうどよかった 2:やや遅かった 1:遅すぎた)



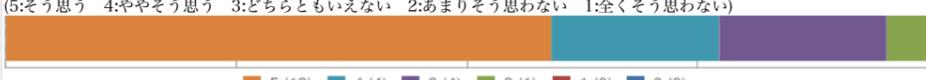
問7. 話し方 (声量やスピードなど) は聞き取りやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



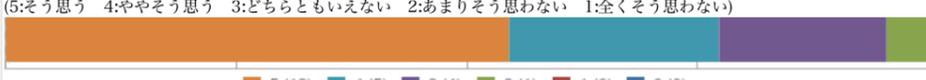
問8. 専門知識や用語の説明は分かりやすかったですか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



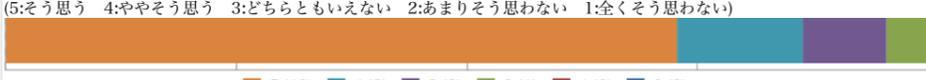
問9. 板書やスライド、視聴覚教材などは、授業の理解を助けるものでしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



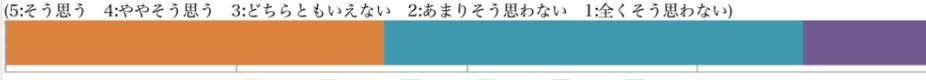
問10. 教科書や配布資料 (デジタルコンテンツを含む) は役に立ちましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



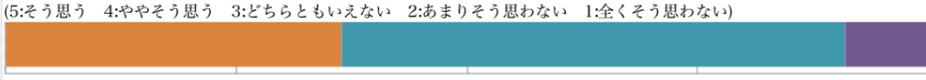
問11. 教員は授業に意欲的に取り組み、指導は熱心でしたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



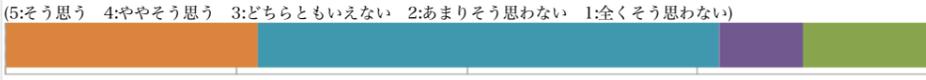
問12. 教員は、教室の学びやすい雰囲気を作るように努めていましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



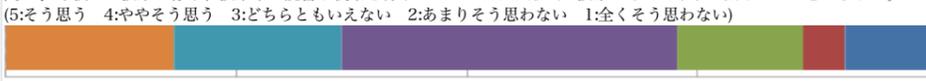
問13. この科目の内容について、興味と関心が深まりましたか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問14. 今後この授業の様な、授業中に読書や執筆を行うワークショップ形式の授業があつたらまた受けたいと思いますか。

(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



問15. あなたは本科目を履修してよかったと思いますか。

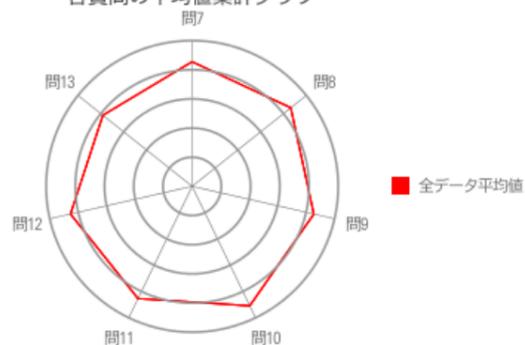
(5:そう思う 4:ややそう思う 3:どちらともいえない 2:あまりそう思わない 1:全くそう思わない)



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進度	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.64	3.27	4.20	3.68	3.36	4.27	4.32	4.27	4.55	4.27	4.27	3.91
7割出席平均	3.64	3.27	4.20	3.68	3.36	4.27	4.32	4.27	4.55	4.27	4.27	3.91

各質問の平均値集計グラフ



## 所見

【集計結果および今後の改善に向けて】

集計結果から分かる第一のことは、多くの受講者が授業時間外学習にかなりの時間を使っていたことです (週1時間以上が回答者全体の55%)。これは、学期を通して授業時間外に読書と執筆を推奨した結果だと思えます。難易度については、「ちょうどよかった」が全体の半分となり、難しいと感じた受講者が多くいたようです。これは、講義の理解についてというより、読書やレポート執筆の際の困難を意味していると思われま。教員の授業の仕方に関する問7～問12では、5段階評価で4.2以上、特に資料の提供では4.5くらいですので、大きな問題はなかったように思われます。ただ、問13の興味関心については3.9 (「そう思う」「ややそう思う」合計77%) ですので、やや低めでした。学びのペースを完全に学生に任せてしまい、最後に慌てる受講者が多かったようです。学びのペースに関するコーチングを行うべきだったと思っています。

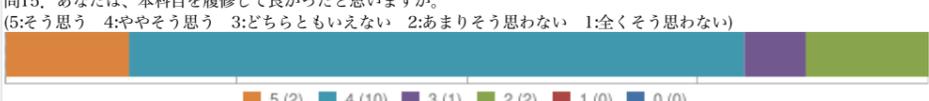
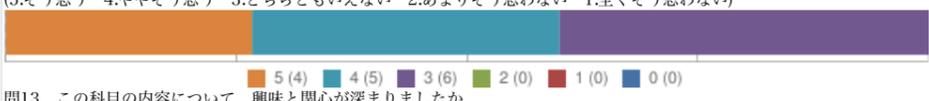
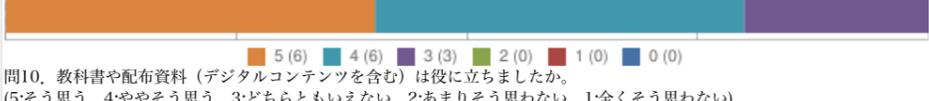
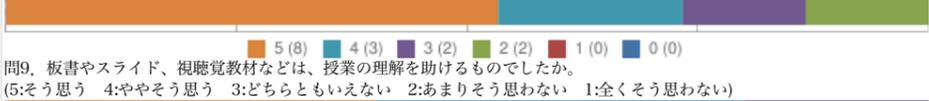
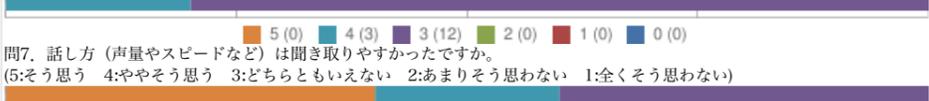
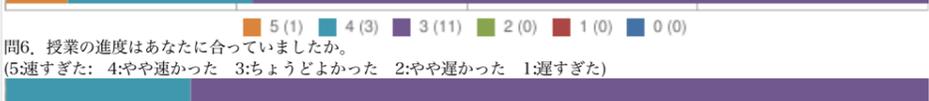
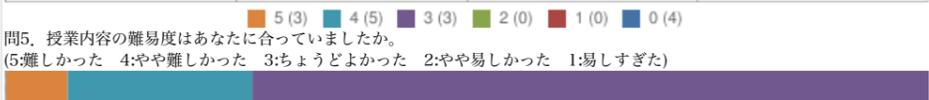
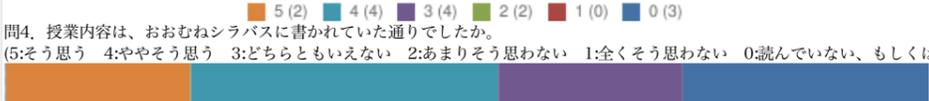
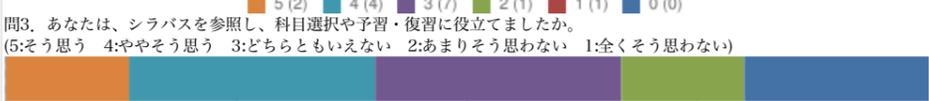
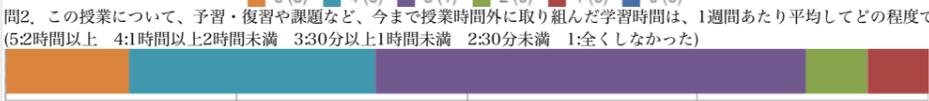
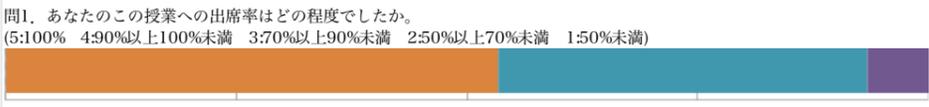
【自由記述欄の回答について】

・良かった点  
「レポートを書くとなるとたくさんしらべものをするので、知識が増えた。レポート等の書き方がわかった」  
「予習・復習する環境は整えられていたと思う。資料なども重要な部分をしっかりまとめられていて良かった」  
「講義の内容がおもしろかった。また田中先生の授業を受けたいです」  
「題材」

・改善した方がよい点、改善のための提案  
「ペース配分がわからず、最後になって終わってない!!とあせったので、今こここまで終えていると良い等言ってほしかったです」  
←マイペースを進めることを最優先しすぎたと反省しています。どの程度のペースが望ましいかは言った方が良かったと思っています。  
「小レポートから期末までの時間が足りない。つまり、査読の回数を調節してほしい。特に最後のほう」  
←全体が後ろ倒しになってしまったことが原因です。より早い段階から査読ができるようにしないといけませんでした。

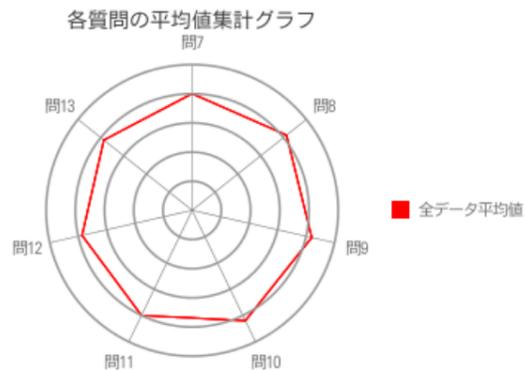
# 授業アンケート 2018年度 後期

コマ、学部	金1 昼間学部人間科学科目系列	全データ数	15
科目名	科学技術と現代社会	7割出席データ数	15
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	100.0



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進捗	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.33	3.50	4.00	3.33	3.20	4.00	4.13	4.20	4.20	4.00	3.87	3.87
7割出席平均	3.33	3.50	4.00	3.33	3.20	4.00	4.13	4.20	4.20	4.00	3.87	3.87



## 所見

### 【集計結果および今後の改善に向けて】

今学期のアンケート結果を昨年度後期の結果と比較して分かることは、授業時間外学習時間が大幅に増えたこと（5段階評価の平均値で2.5→3.3、週1時間以上が12%→40%）と、教員の授業の仕方に関する問7～問12および総括的設問の問13で全体的に評価が下がったことです（下げ幅は5段階評価で0.2～0.6）。これらの結果から想定されることは、今学期の授業は、昨年度よりも課題の負荷が重くなったということでしょう（下記自由記述参照）。それに伴い、全般的な評価が下がったのだらうと思います。全般的な評価の低下は、受講者の不満の表れと捉えることができると思います。

授業において昨年度と変わった点は、教員の講義時間を短くし、その代わりに受講者が授業中に読書をしたり執筆をしたりする時間を設けたことです。講義時間が短くなった分、講義での教員の説明は減りましたので、それだけ分かりにくくなったのかもしれませんが。

今学期の私の反省点は、選書や執筆のテーマ選び、また学びのペースに関して自由度を上げすぎたため、受講者が学期全体において無理のない学びをすることができず、学期末に過度の負担が集中してしまったことです。ノルマを減らし、また適度な締切を設けることで、より無理のない学びが実現できるようにしたいと思います。

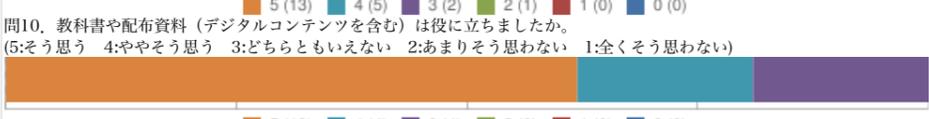
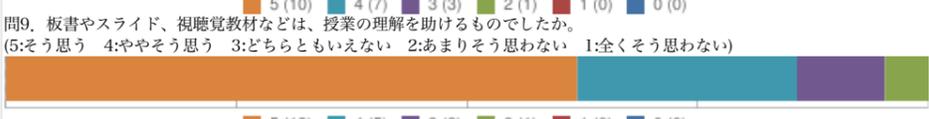
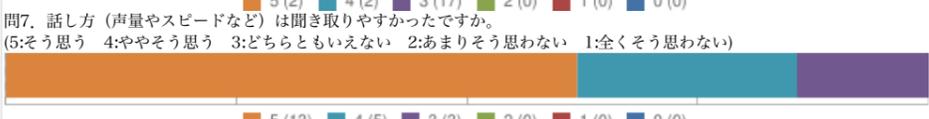
### 【自由記述欄の回答について】

・良かった点  
「書評や小レポートの書き方を丁寧に教えて頂き、わかりやすかったです。先生が意欲的に熱意を持って授業をして下さったので、こちらもそれにこたえようと頑張れたので良かったです」  
「レポートの作成方法がわかったこと」

・改善した方がよい点、改善のための提案  
「最低限の提出物（書評・小レポート1つ）の初稿の提出日を先生の方で定めて下さると、より取り組みやすかったです。（もちろん、自分で期限を定めて取り組むことがベストですが…）」  
←提案ありがとうございます。参考にします。  
「本授業では4つのレポートが存在しているが、1つ減らしてもよいと思った」  
←前期の授業では、毎回小レポートを課したので、これでもだいぶ減ったと思っていました。が、まだ負担が過重であることを理解しました。

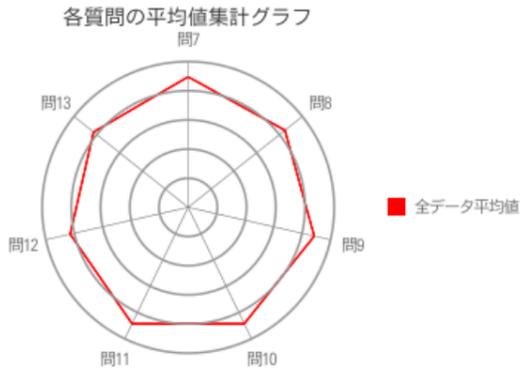
# 授業アンケート 2018年度 後期

コマ、学部	土N4 第二部人間科学科目系列	全データ数	21
科目名	科学技術と現代社会	7割出席データ数	20
担当教員名	田中 浩朗	出席率未回答数	0
		7割出席割合	95.2



各質問の平均値集計

	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13
問	学習時間	シラバス	授業内容	難易度	進捗	話し方	用語	板書	資料の適切	指導の熱心さ	雰囲気	興味・関心
全データ平均	3.95	3.88	4.24	3.67	3.29	4.48	4.24	4.43	4.43	4.43	4.14	4.14
7割出席平均	3.90	3.81	4.19	3.70	3.30	4.45	4.20	4.40	4.40	4.40	4.10	4.10



## 所見

【集計結果および今後の改善に向けて】

今学期のアンケート結果を昨年度後期の結果と比較して分かることは、授業時間外学習時間が大幅に増えたこと（5段階評価の平均値で2.8→4.0、週1時間以上が18%→76%）と、教員の授業の仕方に関する問8～問12および総括的設問の問13で全体的に評価がやや下がったことです（下げ幅は5段階評価で0.1～0.2）。また、難易度と進捗においても「ちょうどよかった」が減り、難しかった、速すぎたといった回答が増えています。これらの結果から想定されることは、今学期の授業は、昨年度よりも難しくなり、課題の負荷も重くなったということでしょう。それに伴い、全般的な評価が下がったのだらうと思います。授業において昨年度と変わった点は、教員の講義時間を短くし、その代わりに受講者が授業中に読書をしたり執筆をしたりする時間を設けたことです。講義時間が短くなった分、講義での教員の説明は減りましたので、それだけ分かりにくくなったのかもしれませんが、今後は、適度な負荷とコーチングによる無理のない学びを実現するよう工夫していきたいと思っています。

【自由記述欄の回答について】

- ・良かった点
  - 「授業中に講義をきくだけでなく、読書や執筆を行うワークショップがあつて楽しかった」
  - 「授業サイトは学習する上でとても役立ちました」
  - 「スライドや資料が配布されていて、とても自宅でのレポート作成の時に役立った」
  - 「ブログでコメントを共有したり、他人の意見が授業外でも学べるのがとても良かったです」
  - 「クラスブログにコメントをしていただいたのが良かった」
  - 「タスクは多いが、学びも多かった。今まで本気で考えたことのない内容だったので、発見も沢山あり、今後自発的に取り組もうと思った」
  - 「歴史理解がかなり深まった。校正の手法など理解できた」
  - 「さまざまな本から引用されている点」
- ・改善した方が良い点、改善のための提案
  - 「もう少し早い段階で書評などを書けると、期末レポートの査読なども何回か受けれたのかと思います」
  - ←私もそう思いました。
  - 「時間のない人は取るべきではないことを事前に告知すべき」
  - ←今後は、どれくらいの負荷があるかを告知したいと思います。ただ、取るべきではないとは言えません。それは各自が判断すべきことです。
  - 「授業WEBにおいて文字を選択すると、コメントの機能が連動しているが、少し不便に感じる。→文章を読む時に文字を反転させる利用方法のため」
  - これはシステムの仕様なので、このシステムを使う限り改善はできないのですが、また別のシステムを使うことも検討してみたいと思います。
  - 「レポートが多い。大変」
  - そうだろうと思いました。ノルマの分量は再検討します。